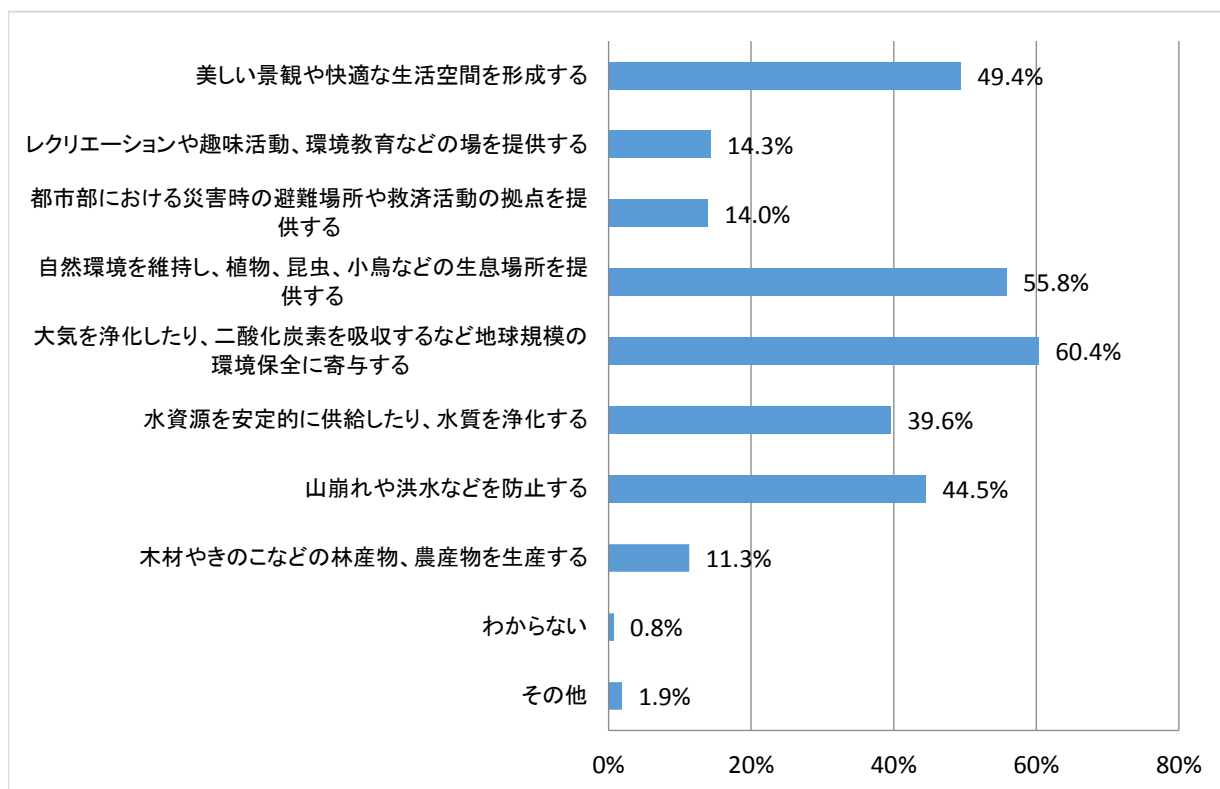


【みどりの保全と創造について】

調査期間 R1.7.9 ~ R1.7.23
 回答率 83.1% 回答者数 265人

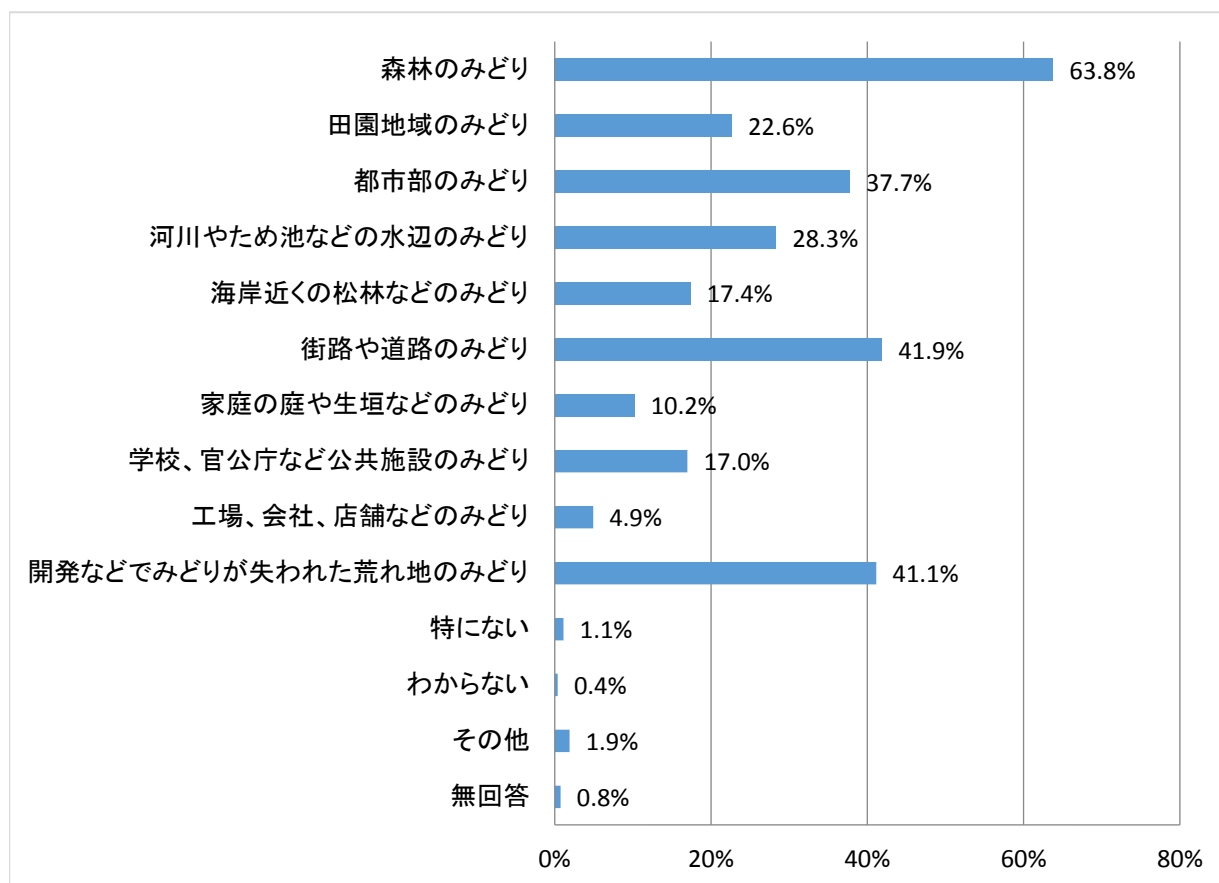
【問1】みどりは、さまざまな形でわたしたちの生活を支えています。あなたは、その中でどのような役割が特に重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
美しい景観や快適な生活空間を形成する	131	49.4%
レクリエーションや趣味活動、環境教育などの場を提供する	38	14.3%
都市部における災害時の避難場所や救済活動の拠点を提供する	37	14.0%
自然環境を維持し、植物、昆虫、小鳥などの生息場所を提供する	148	55.8%
大気を浄化したり、二酸化炭素を吸収するなど地球規模の環境保全に寄与する	160	60.4%
水資源を安定的に供給したり、水質を浄化する	105	39.6%
山崩れや洪水などを防止する	118	44.5%
木材やきのこなどの林産物、農産物を生産する	30	11.3%
わからない	2	0.8%
その他	5	1.9%



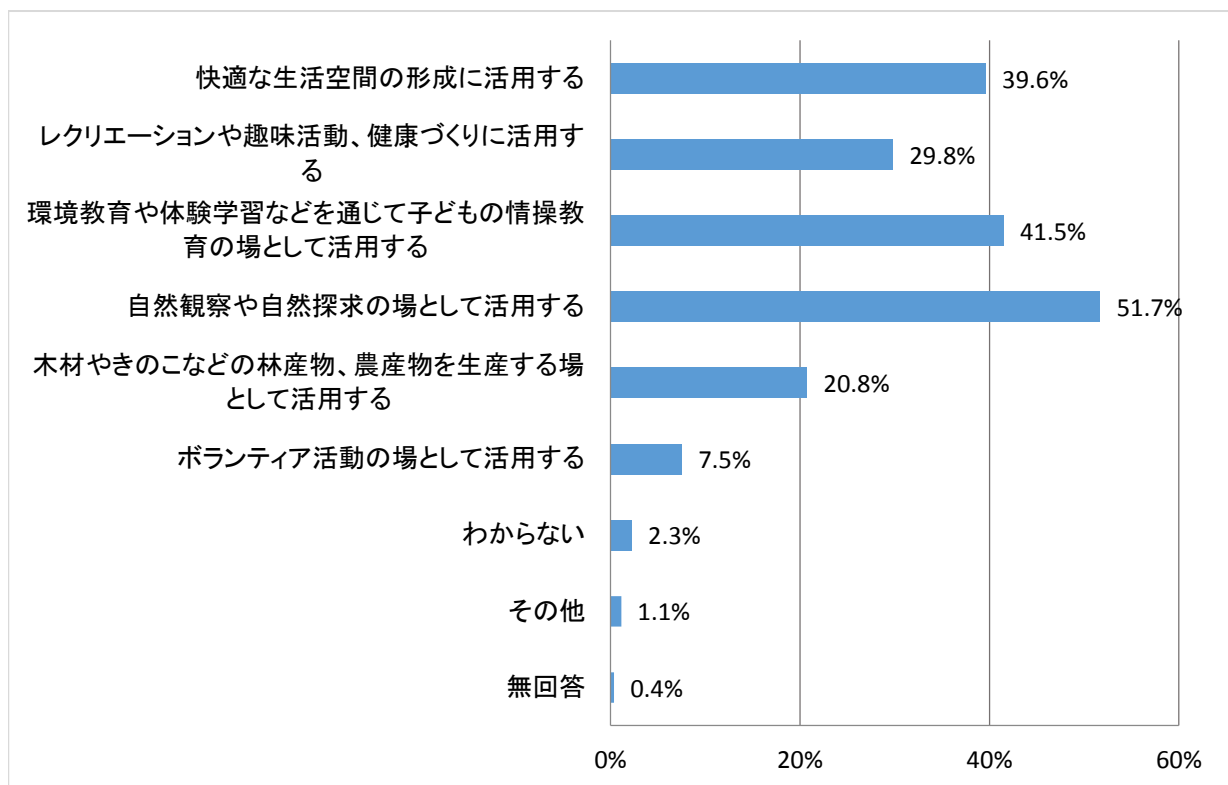
【問2】あなたは、みどり豊かな環境をつくっていくために、特にどのような「みどり」について、緑化の推進や保全する必要があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 265	
	回答者数	構成比
森林のみどり	169	63.8%
田園地域のみどり	60	22.6%
都市部のみどり	100	37.7%
河川やため池などの水辺のみどり	75	28.3%
海岸近くの松林などのみどり	46	17.4%
街路や道路のみどり	111	41.9%
家庭の庭や生垣などのみどり	27	10.2%
学校、官公庁など公共施設のみどり	45	17.0%
工場、会社、店舗などのみどり	13	4.9%
開発などでみどりが失われた荒れ地のみどり	109	41.1%
特にない	3	1.1%
わからない	1	0.4%
その他	5	1.9%
無回答	2	0.8%



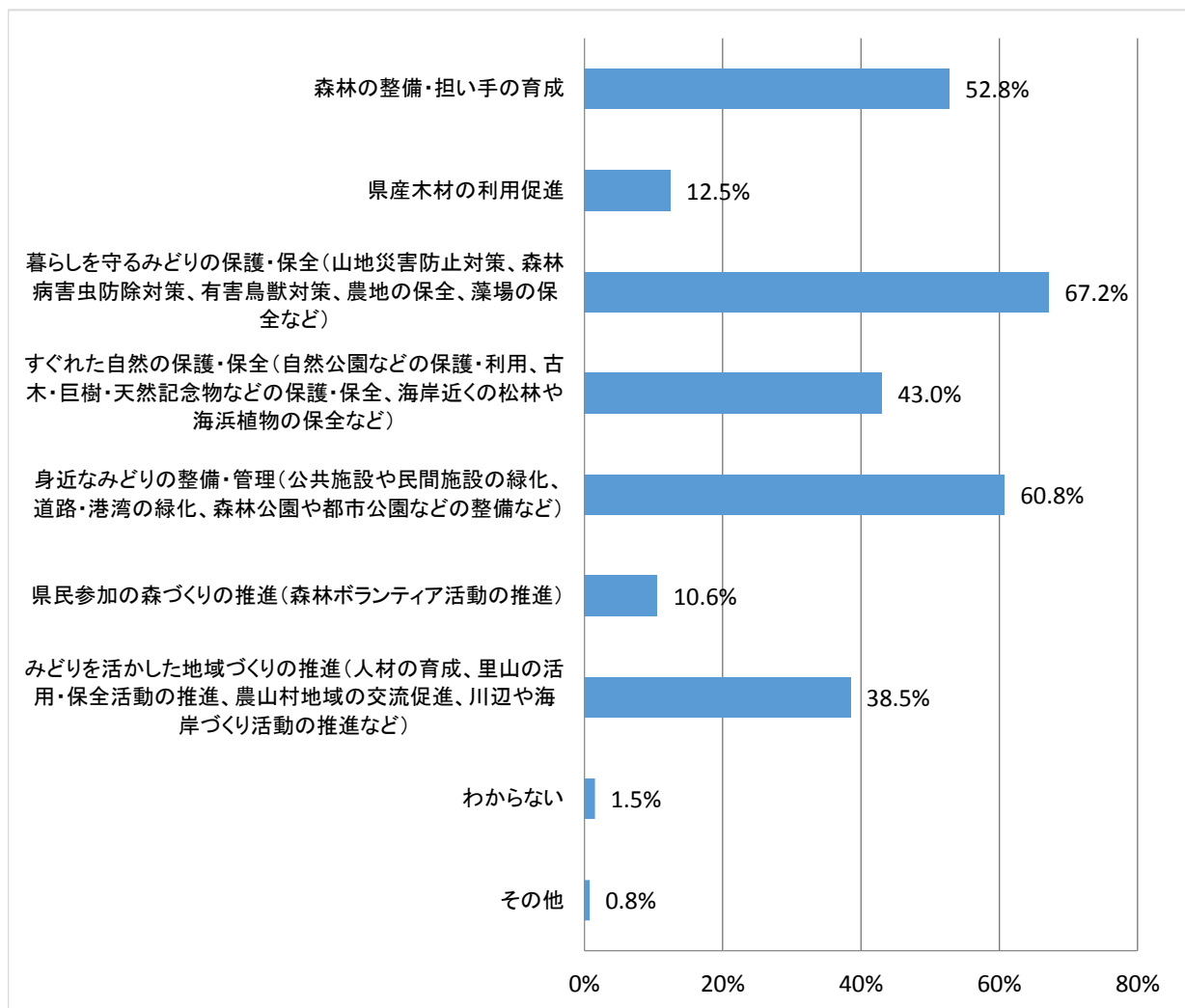
【問3】あなたは、生活の中にみどりをどのように取り入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 265	
	回答者数	構成比
快適な生活空間の形成に活用する	105	39.6%
レクリエーションや趣味活動、健康づくりに活用する	79	29.8%
環境教育や体験学習などを通じて子どもの情操教育の場として活用する	110	41.5%
自然観察や自然探求の場として活用する	137	51.7%
木材やきのこなどの林産物、農産物を生産する場として活用する	55	20.8%
ボランティア活動の場として活用する	20	7.5%
わからない	6	2.3%
その他	3	1.1%
無回答	1	0.4%



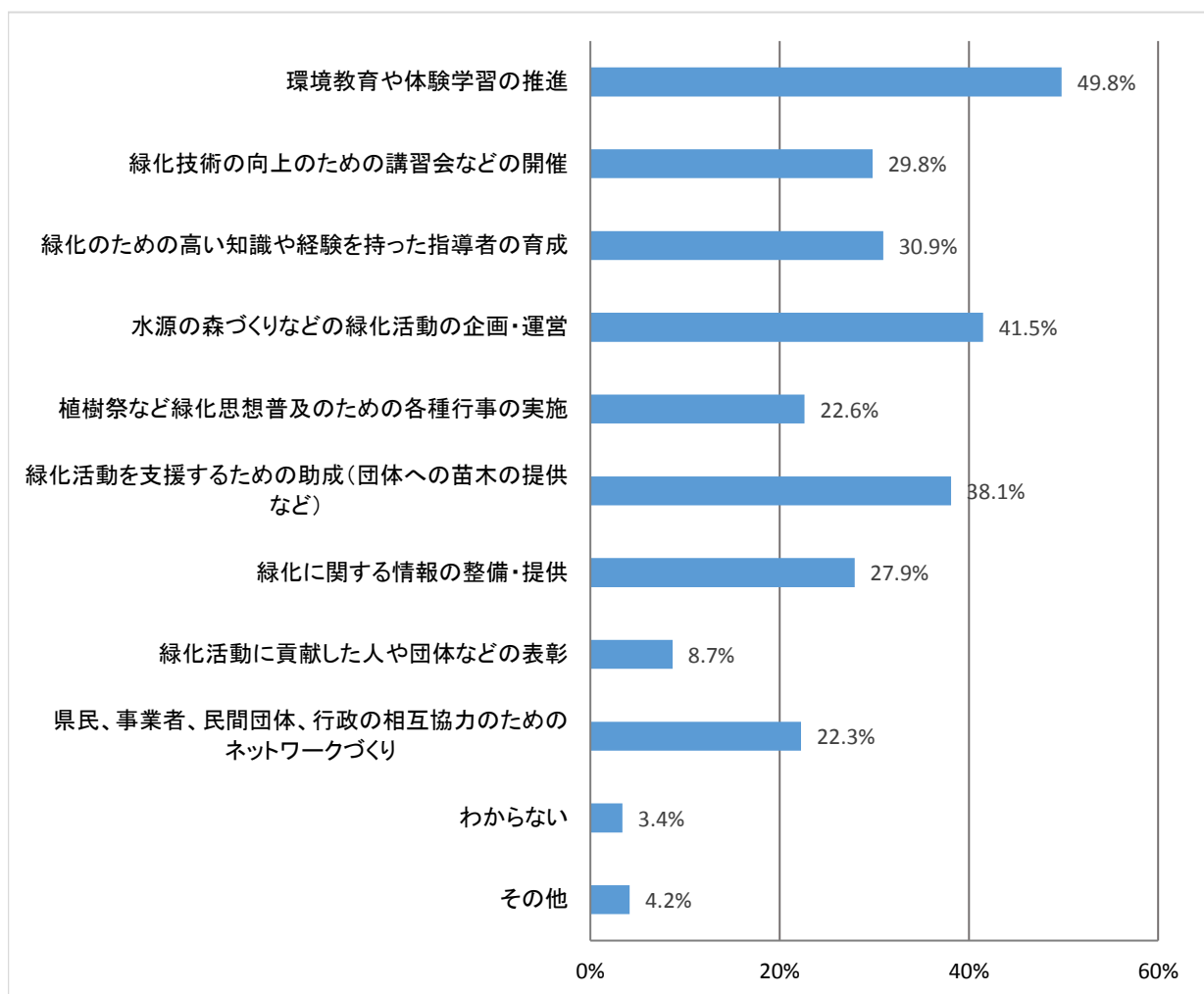
【問4】緑化の推進とみどりの保全のために県や市町が実施する施策の中で、あなたは、何が重要と考えますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
森林の整備・担い手の育成	140	52.8%
県産木材の利用促進	33	12.5%
暮らしを守るみどりの保護・保全(山地災害防止対策、森林病虫害防除対策、有害鳥獣対策、農地の保全、藻場の保全など)	178	67.2%
すぐれた自然の保護・保全(自然公園などの保護・利用、古木・巨樹・天然記念物などの保護・保全、海岸近くの松林や海浜植物の保全など)	114	43.0%
身近なみどりの整備・管理(公共施設や民間施設の緑化、道路・港湾の緑化、森林公園や都市公園などの整備など)	161	60.8%
県民参加の森づくりの推進(森林ボランティア活動の推進)	28	10.6%
みどりを活かした地域づくりの推進(人材の育成、里山の活用・保全活動の推進、農山村地域の交流促進、川辺や海岸づくり活動の推進など)	102	38.5%
わからない	4	1.5%
その他	2	0.8%



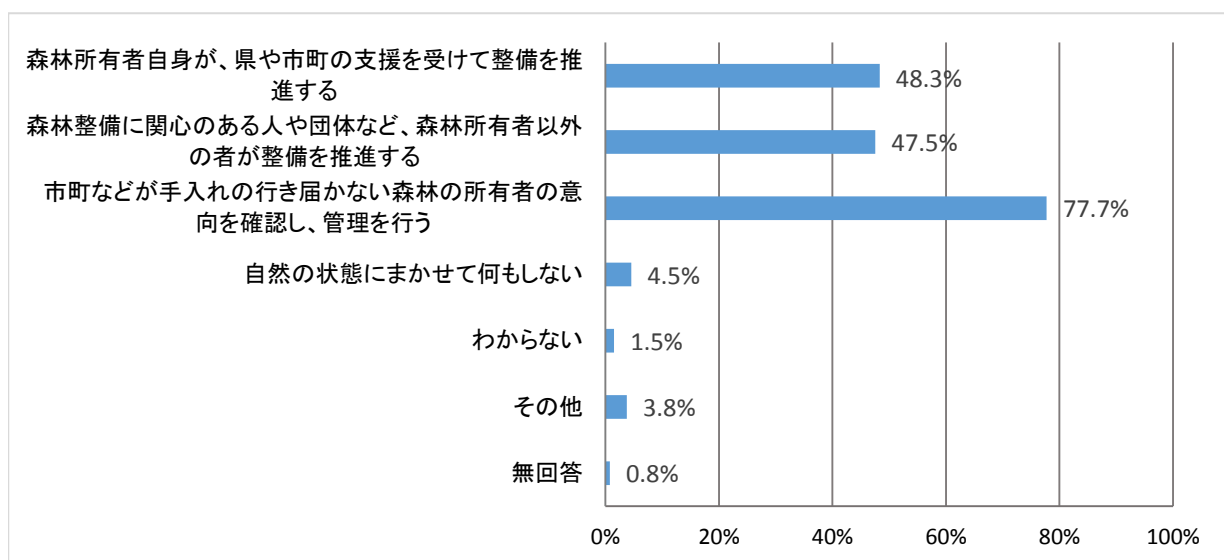
【問5】あなたは、県民一人ひとりが、主体的に植樹や手入れなどの緑化活動に取り組むようになるために、県や市町はどのようなことをする必要あると考えますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
環境教育や体験学習の推進	132	49.8%
緑化技術の向上のための講習会などの開催	79	29.8%
緑化のための高い知識や経験を持った指導者の育成	82	30.9%
水源の森づくりなどの緑化活動の企画・運営	110	41.5%
植樹祭など緑化思想普及のための各種行事の実施	60	22.6%
緑化活動を支援するための助成(団体への苗木の提供など)	101	38.1%
緑化に関する情報の整備・提供	74	27.9%
緑化活動に貢献した人や団体などの表彰	23	8.7%
県民、事業者、民間団体、行政の相互協力のためのネットワークづくり	59	22.3%
わからない	9	3.4%
その他	11	4.2%



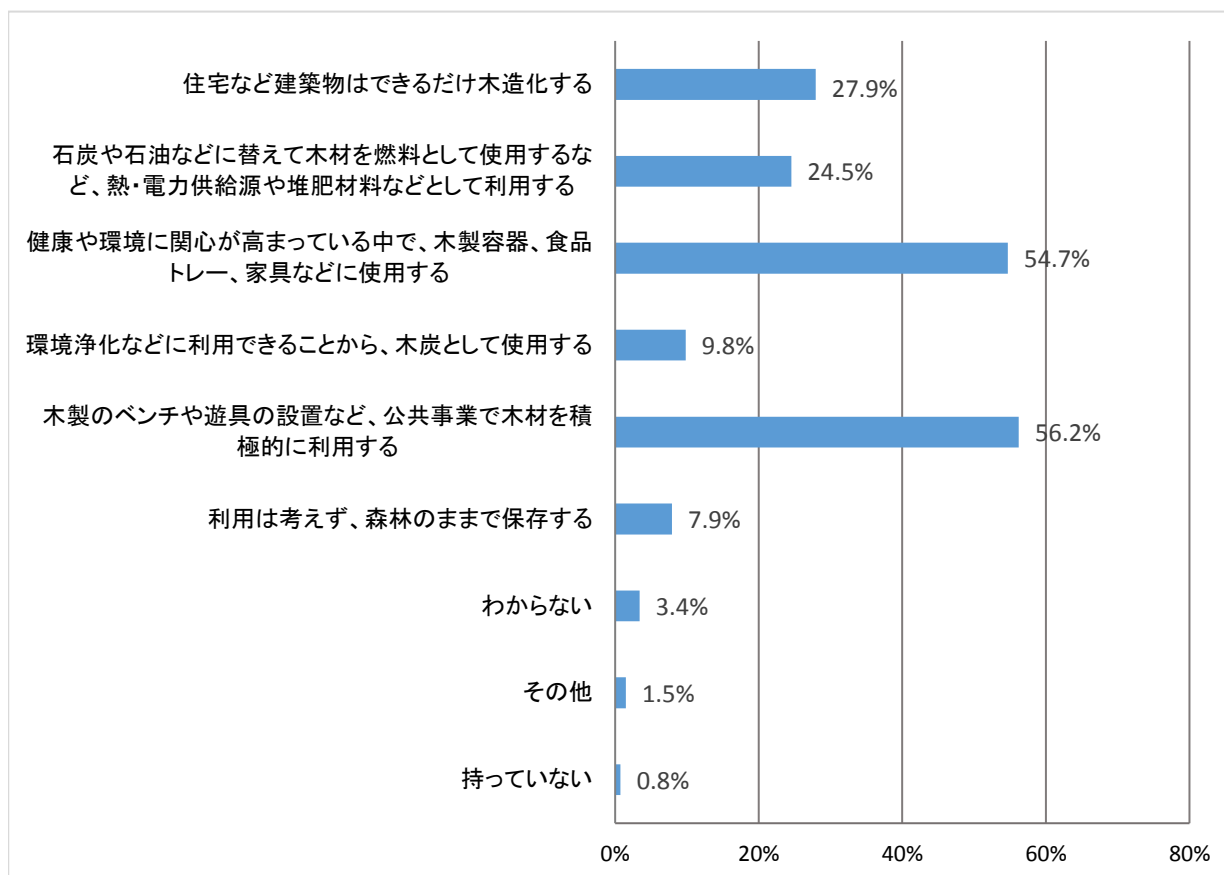
【問6】県土の約半分は森林で覆われていますが、木材価格の低迷などで、手入れが行き届かない森林が増加し、放置された竹林の侵入による森林の荒廃が進んでいることから、森林の持つ水資源を安定的に供給する水源かん養機能や山崩れなどを防止する県土保全機能などの低下が懸念されています。
あなたは、このような状況にある森林の整備をどのようにすべきと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 265	
	回答者数	構成比
森林所有者自身が、県や市町の支援を受けて整備を推進する	128	48.3%
森林整備に関心のある人や団体など、森林所有者以外の者が整備を推進する	126	47.5%
市町などが手入れの行き届かない森林の所有者の意向を確認し、管理を行う	206	77.7%
自然の状態にまかせて何もしない	12	4.5%
わからない	4	1.5%
その他	10	3.8%
無回答	2	0.8%



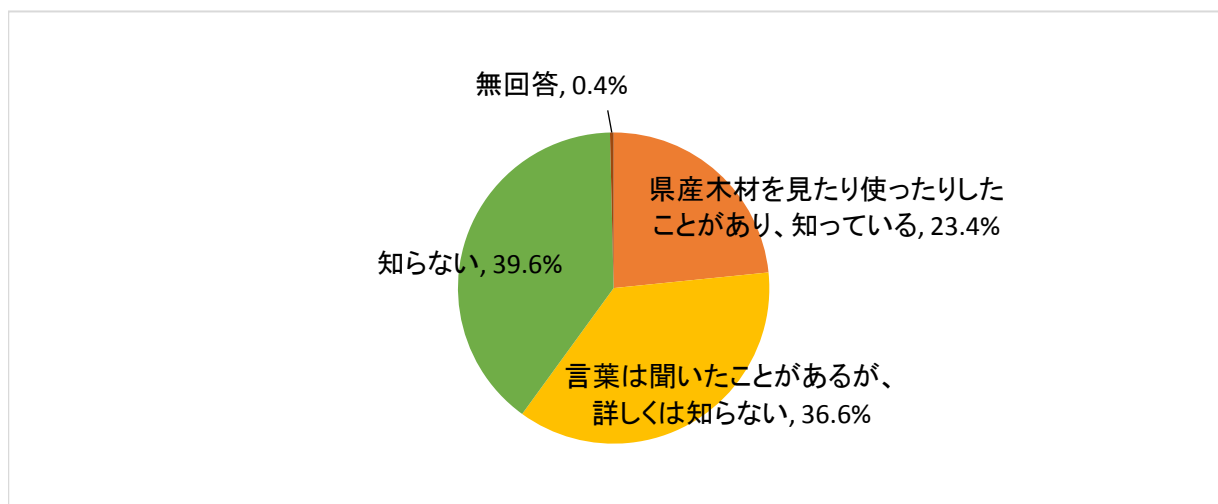
【問7】地球温暖化の一因である二酸化炭素の削減を図る上では、光合成によって二酸化炭素を吸収し、木材内に固定された炭素を貯蔵している木材の利用が有効です。あなたは、どのように木材の利用を進めるべきと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	265	
	回答者数	構成比
住宅など建築物はできるだけ木造化する	74	27.9%
石炭や石油などに替えて木材を燃料として使用するなど、熱・電力供給源や堆肥材料などとして利用する	65	24.5%
健康や環境に関心が高まっている中で、木製容器、食品トレー、家具などに使用する	145	54.7%
環境浄化などに利用できることから、木炭として使用する	26	9.8%
木製のベンチや遊具の設置など、公共事業で木材を積極的に利用する	149	56.2%
利用は考えず、森林のままで保存する	21	7.9%
わからない	9	3.4%
その他	4	1.5%
持っていない	2	0.8%



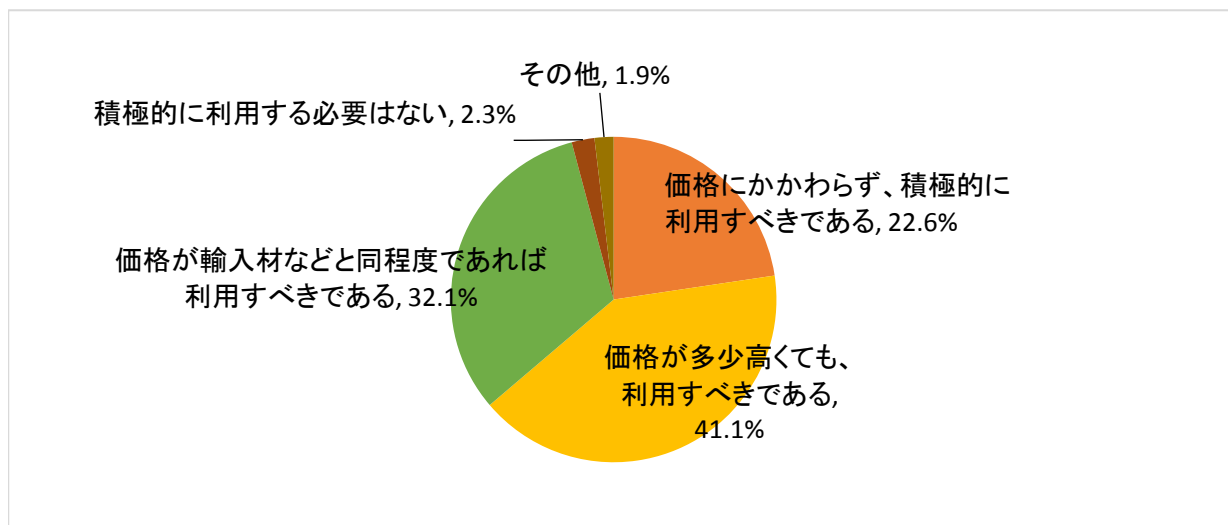
【問8】県では、香川県産木材の認知度を高めるため、香川県産木材認証制度を運用し、産地・品質を認証して県産木材のブランド化を推進するとともに、高松シンボルタワー内の「かがわの森 アンテナショップ」で県産木材製品のPR活動を行っています。あなたは、県産木材（県産ヒノキなど）について知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
県産木材を見たり使ったりしたことがあり、知っている	62	23.4%
言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	97	36.6%
知らない	105	39.6%
無回答	1	0.4%
計	265	100.0%



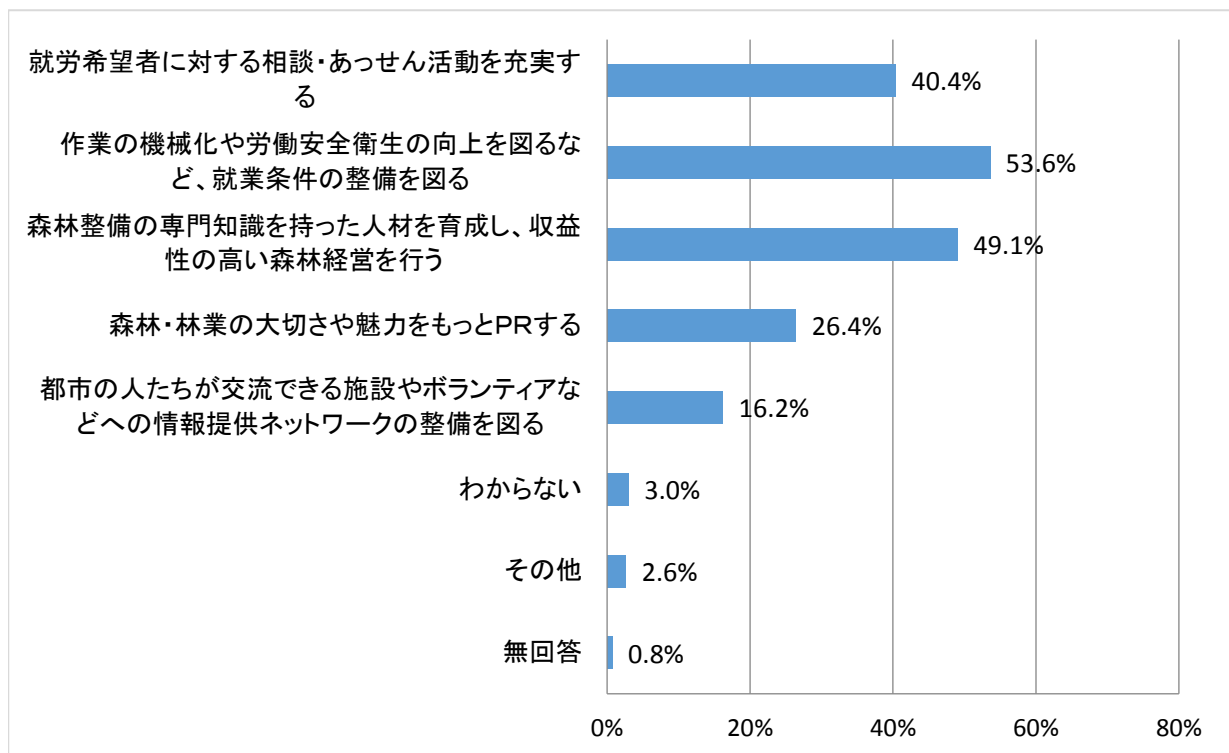
【問9】県産木材を有効利用することが、県内の森林整備を促し、林業の振興を通じて、水源のかん養、県土の保全など、多面的機能の持続的発揮につながります。あなたは、個人の住宅をはじめ、学校、公民館などの公共施設などで柱、内装材、ベンチなどに、県産木材を利用することについて、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
価格にかかわらず、積極的に利用すべきである	60	22.6%
価格が多少高くても、利用すべきである	109	41.1%
価格が輸入材などと同程度であれば利用すべきである	85	32.1%
積極的に利用する必要はない	6	2.3%
その他	5	1.9%
計	265	100.0%



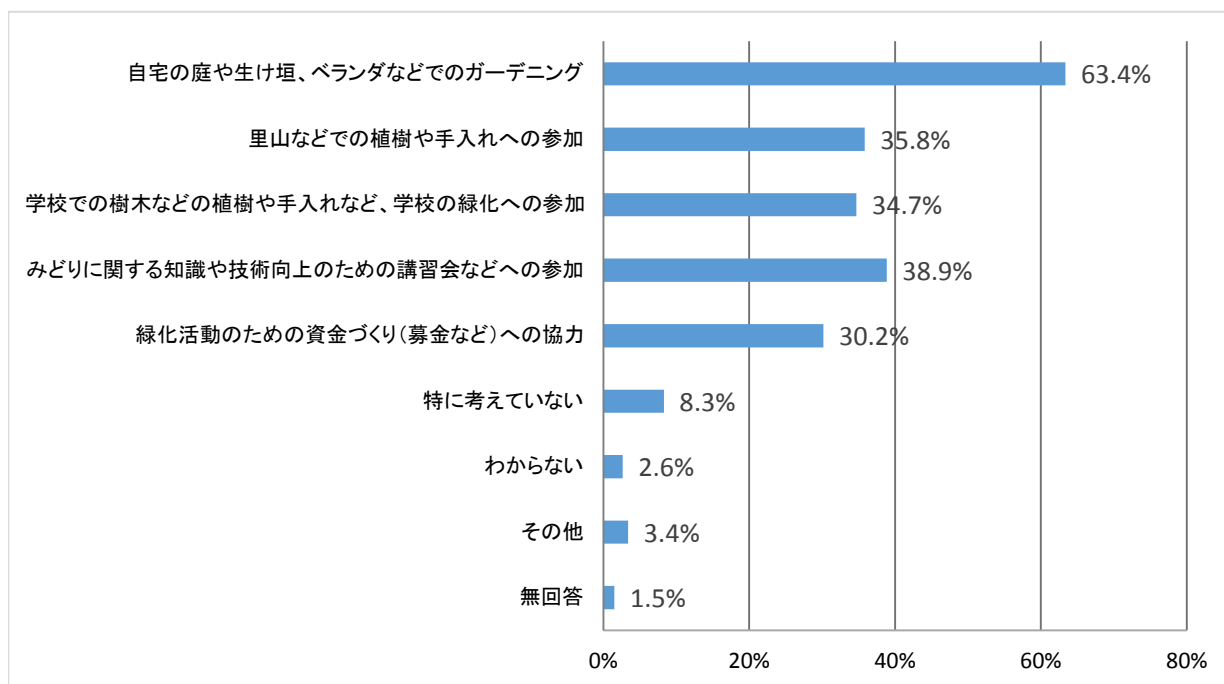
【問10】中山間地域においては過疎化・高齢化の進行や林業の衰退によって、地域の活力が低下するとともに、森林の適正な保全が危ぶまれています。あなたは、中山間地域を活性化し、林業の担い手を確保するために、どのような対策を充実させるべきと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 265	
	回答者数	構成比
就労希望者に対する相談・あっせん活動を充実する	107	40.4%
作業の機械化や労働安全衛生の向上を図るなど、就業条件の整備を図る	142	53.6%
森林整備の専門知識を持った人材を育成し、収益性の高い森林経営を行う	130	49.1%
森林・林業の大切さや魅力をもっとPRする	70	26.4%
都市の人たちが交流できる施設やボランティアなどへの情報提供ネットワークの整備を図る	43	16.2%
わからない	8	3.0%
その他	7	2.6%
無回答	2	0.8%



【問 1 1】みどり豊かな環境をつくっていくために、今後、あなたが行いたいと思う緑化活動は何ですか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 265	
	回答者数	構成比
自宅の庭や生け垣、ベランダなどでのガーデニング	168	63.4%
里山などでの植樹や手入れへの参加	95	35.8%
学校での樹木などの植樹や手入れなど、学校の緑化への参加	92	34.7%
みどりに関する知識や技術向上のための講習会などへの参加	103	38.9%
緑化活動のための資金づくり(募金など)への協力	80	30.2%
特に考えていない	22	8.3%
わからない	7	2.6%
その他	9	3.4%
無回答	4	1.5%



【問12】あなたは、次代にすばらしい森林を残すため、下草刈や間伐などの森林の手入れのためのボランティア活動に関心がありますか。また、参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
関心が高く、参加している	22	8.3%
関心があり、参加したいが、今は参加していない	140	52.8%
関心がなく、参加したくない	51	19.2%
わからない	50	18.9%
無回答	2	0.8%
計	265	100.0%

